



# 市役所プラン 最終発表会!

昨年9月27日(水)、富士市立高等学校2年生による究タイム前期発表会『市役所プラン』が開催されました。

今年度の対象地区は、富士北・富士駅南・富士南・元吉原・吉永・須津・今泉・広見・吉永北・松野の10地区。

5月の校外学習、6月の中間発表、7~8月のフィールドワークを経て、地域の課題解決に向けての提案と計画、地区に対する思いと展望を発表しました。

富士ヒノキのPRのため実際に富士ヒノキを加工した入浴剤を作ったり(吉永北)、地区の道に名前をつけたり(吉永)、夏休みに丸池の清掃を行ったり(吉永)…and more  
たくさんのアイデアに、審査を担当したまちづくり協議会の役員さんも真剣に耳を傾けていました。



### 〈富士ヒノキの入浴剤の作り方〉

- ①重曹、クエン酸、片栗粉(2:1:1)
- ②ボウルでヒノキのチップと混ぜる
- ③水を霧吹きで5回ほど吹きかける  
※泡がでたら失敗
- ④手で混ぜて粉をまとめる
- ⑤型に入れて、半日~1日寝かせる



吉永地区の通りの名前(姫名西通り、姫名東通り、姫名本通り、寒竹通り、姫名中通り)を考えたご褒美に、地元の方からTシャツをいただきました!  
パチリ、記念撮影 ☆

丸池美化のため、夏休み期間中、雑草を抜き、藻がついた石を綺麗にする等、実際に清掃活動を行いました。  
将来的には、ペットボトルシャワーで子供達が水遊びをするような綺麗な池にしたい!



全60グループの中から選ばれた優秀発表は、1月27日(土)の「まちづくり交流会」(一面参照)の中で紹介されます。お楽しみに!

【発行】平成30年1月  
【発行者】富士市市民部まちづくり課  
富士市永田町1丁目100番地(富士市役所3階)  
☎(0545)55-2887  
🌐http://www.city.fuji.shizuoka.jp/



次号も  
お楽しみに!

2018  
January

vol.  
10

# コブタ レポート



チカラコブタクン

今年も  
よろしくコブ!

■地域の力こぶ増進計画・ニュースレター■

## 初「まちづくり交流会」を開催します!

富士市26地区では、地区の特徴やニーズなどに対応し、工夫を凝らした地区まちづくり活動が展開されています。活動内容には違いがありますが、地区の事情を超えて共通するコツのようなものも見受けられます。一方、少し先の未来を見据えると、取り組むべき共通の課題も潜んでいます。そこで、みんなで富士市地区まちづくりの方向性を共有し、全国の先進事例や各地区のまちづくり活動の知恵を聞き合いながら、これからのまちづくりについて、ともに語り合う交流の場「まちづくり交流会」は企画されました。

「まちづくり交流会」のプログラムを計画するにあたって、26地区の役員の方々にアンケートを2回行い、活動の状況やご意見、希望をうかがい、地区とのコミュニケーションをとりながら準備を進めてきました。1月27日(土)、ふじさんめっせでお会いしましょう!

1/27(土)  
13:30 - 16:00  
in  
ふじさんめっせ

入場無料

|            |        |
|------------|--------|
| 他地区の事例紹介   | 14     |
| 役員同士の意見交換  | 10     |
| 他市の先進事例紹介  | 12     |
| 若者世代との意見交換 | 7      |
| 各地区の取組の展示  | 11     |
| 若者世代の意見提案  | 2      |
| その他        | 4 (地区) |

●地区アンケートより  
まちづくり交流会に期待すること(複数回答あり)

- ・他地区部会の活動状況が知りたい。
- ・今後、まちづくり新聞等を作成したいと考えているので、すでに発行している地区の新聞等の展示をお願いしたい。
- ・ローカル新聞社コーナーを設けて、富士市26地区の記事を拡大してパネル展示したらいいかなと思います。

ご提案ありがとうございました。実現します!

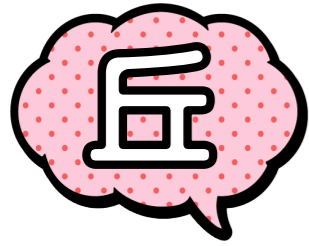
### ●プログラム

|               |        |   |
|---------------|--------|---|
| 13:30 - 13:50 | オープニング | 富士市の地区まちづくり活動への支援の方向性について   |
| 13:50 - 14:50 | 講演     | 持続可能な住民主体のまちづくり<br>~先進事例を交えて~ 島根県雲南市:板持 周治氏   |
| 14:50 - 15:10 | 休憩     | 展示物観覧   |
| 15:10 - 15:50 | 分科会    | テーマ:<br>① 地区の魅力向上の方法<br>② 誰でも安心、安全に暮らせるまちづくりの事業<br>③ 地区の人々のつながりづくりの方法<br>④ 円滑なまちづくり協議会の運営 |
| 15:50 - 16:00 | クロージング | 振り返りとまとめ  |



※その他、各地区の旗やキャラクターの展示、富士市立高校究タイム「市役所プラン」優秀提案、地元ローカル新聞社各社の掲載記事紹介コーナーなどもあります。お楽しみに!

特集◆まちづくり活動を楽しむ!



丘地区は富士市でも交通事故の多い地区です。子どもたちに交通安全や防犯について学んでもらい、夏休みを安全に過ごしてもらおうと、夏休みに入った7月30日(日)、丘まちづくりセンター全館を使って「子ども安全大会」が開かれました。予想を上回る小学生72名、幼児16名、保護者58名の総勢146名が参加し、大盛況でした。

# 子ども安全大会

## 開催までの経緯は？

はじめは、交通安全協会女性部の副部長を務める稲葉やす子さん。まちづくり協議会会長の遠藤清嗣さんに「丘地区として、子ども安全大会をやったらどうか」と提案し、遠藤会長は、「まちづくり協議会として取り組もう」と、安全部に働きかけました。春頃から4回行われた打ち合わせでは、プログラムについてアイデアを出し合い、実際に試しながら、みんなで運営方法を決めていきました。企画のことを地区の方に話すと、各々が持っている情報や提案が集まり、みるみる企画が膨らんでいきました。参加者集めでは、チラシへのアドバイスなど小学校にも協力が得られ、部会を超えたつながりもできていきました。この催しには、「地区で活動する団体同士がつながってみんなで地区をよくしていこう」というまちづくり協議会のカタチが体现されています。



# 名瀑「猿棚の滝」を整備！

起伏の多い吉永北地区には、12の滝があります。なかでも、「猿棚(さるだな)の滝」は長年、地区の名所として知られてきました。大正時代には、歌人の巖谷小波(いわやさざなみ)がここを訪れた際、「大瀧や猿が峙の玉簾」と詠んだことを当時の地区の人たちが誇りに思い、お金を出し合って句碑を建立しました。まちづくり協議会会長の佐藤正則さんにとっては子どもの頃、魚釣りをしたり、遊んだ原風景です。さらに、平成30年に設定される吉永北地区一万歩コース(仮称)のルートにも入っています。



しかし、ここ数年間は手が入っておらず、滝周辺は、草木が生い茂り、滝の姿を眺めることができない状態になっていました。まちづくり協議会でも整備についての検討はなかなか進展してきませんでしたが、今年度、いよいよ動き出しました。5月に役員のみなさんで現地を確認し、7月に専門業者に依頼して、延べ一週間程度をかけて斜面の樹木を伐採。句碑の所から滝がある場所を見ることができるようになり、地元の人からも「よくなった」との声が聞こえるまでになりました。

しかし、住民や訪れる人が滝をもっと安全に眺められる魅力ある場所にしていくためには、入口の整備や管理のしくみづくりなど、課題もあります。地区で育つ子どもたちの記憶に残る場所にしていく「まちづくり活動」として、地区の多くの方々が関わりあいながら、みんなで整備を進めていきたいとの思いを持っています。



▲伐採後、句碑から滝を望めるようになりました。普段は涸滝ですが、大雨後に現れる姿は圧巻。まさに幻の滝！



### 〈当日のプログラム〉

- クイズ、防犯かるた、交通標識トランプ、ビンゴ、ストラックアウト、魚つり、僕・私の約束ぬりえ、信号輪投げ、白バイ撮影会、反射材キーホルダーづくり、スタンプラリー(参加賞は手作りマスコット、お菓子等)



## 今後の展開は？

運営に携わった方々からは「子どもに教えるつもりだったが、一緒に楽しんだという感じ。」との感想が聞かれました。イベントによって地区の子どもたちの日頃の様子も知ることができ、期待以上の成果があったようです。すでに来年に向けての構想も浮かんでいるとのこと。丘地区の恒例行事になりそうです。



# 「菜の花の里」づくり

毎年、菜の花のプランター70~80台を植栽し、3月に「菜の花の里まつり」が行われていますが、地区内に広い菜の花畑があるわけではありません。今年度の市立高校市役所プランの生徒からの意見もあって、今年度のまつりには、その名にふさわしい菜の花の見どころをつくらうと、鵜無ヶ淵公園に約40㎡(面積)の広さの花壇をつくりました。今後は花壇の場所をさらに広げていきたいとのことで、まつりの名前だけでなく地区の活動としての「菜の花の里づくり」が始まろうとしています。



【予告】今年度の「菜の花の里まつり」は3月11日(日)

なぜ、地域課題に対応できたのか、その理由をうかがうと、役員の間で「そもそも…」といった素朴な疑問や質問がしやすく、疑問を受け止め率直な意見交換によって「やってみよう」を応援する雰囲気ができていること、フットワークの軽い人がいることなどを挙げていただきました。地区内の円滑なコミュニケーションによる結束力が課題解決を加速させているようです。